

アイヌ民話ライブラリ 1

# 上田トシの民話 1



アイヌ民族博物館

## 第3話 神 謡

---

# アカシヨウビンになった メナシの女

収録日：1994年10月2日

資料番号：35225B

添付CD：1-3（7分38秒）

第3話 神謡<sup>1</sup> 「アカシヨウビンになったメナシの女」<sup>2</sup>

(V=ヘイヌ heinu 折り返しのフレーズ)

V ポンサラ ウン クル<sup>3</sup>  
 Ponsar un kur  
 小沙流 の 人

V チオレボレ…  
 ci=orepore…  
 トントン叩いた…

(言い直し)<sup>4</sup>

V ポンサラ ウン クル  
 Ponsar un kur  
 小沙流 の 人

V キク… キリケウ カシ  
 kik… kirkew kasi  
 ひざ の上

5 V チオレボレ  
 ci=orepore  
 トントン叩きながら  
 (私)トントン叩く

V エネ イタカン ヒ。  
 ene itak=an hi.  
 このように 言う(私) こと

私はこのように言いしました。

V “メナシ ウン マツ アナク  
 “Menas un mat anak  
 メナシ の 女 は

「メナシ<sup>5</sup>の女は

V イコロ<sup>6</sup> アサム タ  
 ikor asam ta  
 宝物 底 に

宝物の底に

V チユコセシケ プ  
 ci=ukoseske p  
 (人)互いに隠す もの

内緒の隠し物の財産を

1 1994年10月2日、アイヌ民族博物館ポロチセで開催されたアイヌ文化教室「アイヌ口承文芸鑑賞会」での口演。解説は千葉大学中川裕氏。この物語のジャンルについて話者の上田トシ氏は「メノコユカラ menokoyukar」と言っている。(沙流川中流での言い方で、下流及び鶴川等でカムイユカラ kamuyukarと呼ばれる)

2 語りに先立って、上田トシ氏は「おとといの雨の日から習い始めた」と語っている。おそらく、田村すず子編著『早稻田アイヌ語音声資料5—二風谷の昔話と歌謡・神謡』所収「小沙流の人の膝の上を」(話者:平村つる)(pp.67-73)のテープを聞いて覚えたものと思われる(以下「同書」と略す)。本書の対訳もこれを参照している。また同書に「この神謡とよく似た内容の神謡が、久保寺逸彦編『アイヌ叙事詩 神謡・聖伝の研究』に筆録されている〔神謡 52 (pp.241-243)〕」(同書 p.73)と。

3 中川裕氏は「(メナシの女が)若い沙流川の男を口説いている(話)」と解説している。

4 一行抜けたので言い直したもの。

5 静内より東の地方をさす。

6 同書によると「ikorは間違いで、suwop《箱》が正しいと歌い手のつるさん自身が言っている。su-wop asam taは《箱の底に》」(同書 p.67注3)

- 10 V コロ ペ ネ ナ。  
kor pe ne na.  
を持つ もの だ よ  
持っているのです。
- V イコロ アサム タ  
ikor asam ta  
宝物 底 に  
宝物の底に
- V シユク<sup>7</sup> ウウェウンペ  
siyuk uweunpe  
装束する 一揃いの太刀  
立派な一揃いの宝刀を
- V コロ ペ ネ ナ  
kor pe ne na  
を持つ もの だ よ  
持っているのです。
- V …アレンカレンカ…ヒ…  
…a=renkarenka...hi...
- 15 (アピリカレンカビ)<sup>8</sup>  
(apirkarenkabi)  
私の考えたとおりに  
(私の考えたとおりに)
- V イコレンカ ワ  
i=korenka wa  
(私に)を承知し て  
承知して
- V イコロパレ ヤン  
i=korpare yan  
(私に)ください  
下さい。
- V イコラムオシマ ヤン  
i=koram'osma yan  
(私に)同意して ください  
どうか承知して下さい。
- V アピリカイタク  
a=pirkaitak  
(私の)良い言葉  
私のいい話(求婚)を
- 20 V エコラム… エコパン ヤ?  
e=koram… e=kopan ya?  
(お前)拒む か  
あなたは断るのですか?
- V エコパン<sup>9</sup> ヤケン  
e=kopan yakun  
(お前)拒む ならば  
断るのなら
- V エコッチャケ タ  
e=kotcake ta  
(お前の)前 に  
あなたの前に

7 同書ではシサク sisak 「珍しい」だが、シユク siyuk 「装束 (する)」もありえる (実際の音声はチユク ciyuk と聞こえる)。

8 言葉が出てこなかった模様。田村 1988 では apirkarenkabi (私の考えたとおりに) となっている。

9 同書では (イ) エコアン ヤケン (i)ekoan yakun 「厳しい談判を受けたなら」。「女性からのプロポーズを受けて人から非難されたら私が償います」が元々の内容。

- V イレンカトウイエ  
Irenkatuye  
罰金を出して謝る
- V アキ クス ネ ナ。  
a=ki kusu ne na.  
(私)し ます よ
- 25 V エコパン ヘ キ  
e=kopan he ki  
(お前)拒み でも する
- V イコラムオシマ ヘ キ"  
i=koram'osma he ki"  
(私に)同意する でも する
- V セコロ イタカン アワ  
sekoro itak=an awa  
と 言う(私) したが
- V ネプ カ ウエン イタク  
nep ka wen itak  
何 か 悪い 言葉
- V アイエ 口ケ ペコロ  
a=ye rok pekor  
(私)言つ た かのよう
- 30 V コロ ウエン プリ  
kor wen puri  
その 悪い ふるまい
- V ナン クルカシ  
nan kurkasi  
顔 の上一帯に
- V チオピラサ  
ciopirasa  
広がる
- V ホントモ タ  
hontomo ta  
途中 に
- V マッコサヌ  
makkosanu  
ぱっと
- 35 V ソサムウシペ<sup>10</sup>  
sosam'uspe  
壁掛けの太刀

10 同書ではソサモッペ sosamotpe。意味は同じ。

V	テクサイカレ teksaykare 手に取る	手にとり
V	ヤイシリコオッケ。 yaysirkootke. 自分を激しく突き刺す	自分で自分の体を刺しました。
V	サマ タ アラパアン ヒネ sama ta arpa=an hine そのそばに 行く(私) して	そのそばに私は行って
	“ナニ エライ クス ネ ヤクン <sup>11</sup> “nani e=ray kusu ne yakun すぐ (お前)死ぬ の ならば	「あなたがすぐに死ぬことになっているのなら
40	エムシペ ケムコヤワウセ <sup>12</sup> ナンコロ。 emusipe kemkoyawawse nankor. 刀身 血が乾く だろう	刀についた血が乾いているでしょう。
	エシクヌ クス ネ ヤクン e=siknu kusu ne yakun (お前)生きる の ならば	生きることになっているのなら
	エムシペ ケムコトクトッケ... <sup>13</sup> emusipe kemkotoktokke... 刀身 血がどろりとなる	刀についた血がどろりとなる
	ナンコン ナ。 ” nankor_ na. だろう よ	でしょうから」
	セコロ イタカン コロ エムシ アエタイエ アクス sekor itak=an kor emus a=etaye akusu と 言う(私) ながら 太刀 (私)を引い たところ	言いながら刀を引き抜きますと
45	エムシペ ケムコトクトッケアン <sup>14</sup> emusipe kemkotoktokke=an 刀身 血がどろりとなる(人)	刀の血はどろりとなりました。
	“ナニ エライ クス ネ ヤクン “nani e=ray kusu ne yakun すぐ (お前)死ぬ の ならば	「すぐにあなたが死ぬのでしたら
	アシヌマ カ ライアン クス ネ ワ” asinuma ka ray=an kusu ne wa” 自分 も 死ぬ(私) します よ	私も死にますわ」

11 以下メロディなしでの語り。

12 話者の説明では「乾いてること」と。同書では「乾いてどろりとなる」と。

13 同書ではケムコトウシテウシケ ナ kemkotustuske na.「生血がそのまま流れるでしょうから」。話者自身の説明では「ケムコトウクトウッケ kemkotoktokke っていうのは、エムシ emus にどろどろ血がついていた」と。

14 同書では、結果は前者ケムコヤワウセ kemkoyawawse 「血が乾いてどろりとなりました」となっているが、話者の語りでは後者となっていて、混乱が見られる。

	セコロ イタクアン コロ sekoro itak=an kor と 言う(私) して	と言いながら
	ネア エムシ アニ nea emus ani その 太刀 で	その刀で
50	ナニ ヤイコシリコオッケアン。 nani yaykosirkootke=an. すぐ 自分を激しく突き刺す(私)	すぐに私は自分で自分の体を刺しました。
	イテメニ カ タ itemeni ka ta 梁 の上 に	屋根の裏側の梁の上に(魂だけになって)
	V <sup>15</sup> ヘモンラチチ <sup>16</sup> hemonracici 手をだらんと下げる	私は手をだらんと下げる
	V アナン アワ an=an awa いる(私) したが	いますと
	V リクンスイ <sup>17</sup> カリ rikunsuy kari 煙出し穴 を通つて	煙出し穴を通つて
55	V ソヨテレケアン ワ soyoterke=an wa 外に飛び出す(私) して	私は外へ飛び出しました。
	V ウラン ルイカ urar_ ruyka 雲 橋	白い雲が橋になって
	V アラパ ルコ arpa ru ko 行く したのは	先へと伸びて行き
	V マクナタラ maknatara あかあかと明るい	あかあかと明るく
	V ウラン ルイカ urar_ ruyka 雲 橋	白い雲の橋を

15 再びメロディつきで語られる。

16 「monracici は tekracici ともいう。直訳すると、《手をぶら下げる》。神譜の中で、神である鳥獣が死ぬと、よく木の皮や天上の梁に、体がのって、手足(つまり脚)がだらんと下がっており、神自身はその鳥獣の耳と耳との間に座っている、ということになっている。」(同書 p.69 注)

17 「rikun-suy 《上方の・穴》とは、煙を出すために屋根にあけてある穴」(同書 p.70 注 2)

- 60 V アヤイオテレケ ワ  
a=yay'oterke wa  
(私)践ん で 踏みしめて
- V アラパアン アワ  
arpa=an awa  
行く(私) したが はるかに行きますと
- (インネ コタン アン。  
(inne kotan an.  
人が大勢いる村 ある 人の大勢住む村がありました。)<sup>18</sup>
- V コタンパ ワノ  
kotanpa wano  
村の上端 から 村の上のはずれから
- V セタ イエミヶ ワ  
seta i=emik wa  
犬 (私に)吠え て 私は犬に吠えられました。
- 65 V アラパアン アワ…  
arpa=an awa…  
行く(私) したが 行きましたが…<sup>19</sup>
- V コタンコロクル チセ ソイ タ  
kotankorkur cise soy ta  
村長 家 の外 に 村長の家の外に
- V アラパアン アワ  
arpa=an awa  
行く(私) したが 行きましたが
- V メノコボ トシカ  
menokopo toska  
若い娘 群れ 娘たちの一群
- V オッカヨボ トシカ  
okkayopo toska  
若い男 群れ 若者たちの一群が
- 70 V イウタパ コロ オカ。  
iutapa kor oka.  
杵搗きをし ながら いる 白を搗いてヒ工搗きをしています。
- V チセ オンナイ ウン  
cise onnay un  
家 の中 に 家の中に
- V ポンサラ ウン クル  
Ponsar un kur  
小沙流 の 人 小沙流の人が

18 同書から。「死後の国に着いたわけである」(同書 p.70 注4)

19 次行が抜けたので言い直したもの。

- V イウェンイヨンヌッパ ハウ  
i=wen'iyonnuppa haw  
(私に)ひどく告げ口をする 声  
訴えている声が
- V カツコク ハウ ネ  
kakkok haw ne  
カツコク 声 である  
カツコクの声みたいに
- 75 (V オウセ テレケ。  
owse terke.  
空中へ 跳ぶ  
(節なし)  
V アウォシマアン ルウェ ネ アクス  
awosma=an ruwe ne akus  
家に入る(私) こと だつ たところ  
(節あり)  
V “ネ ヤクン メノコ  
“ ne yakun menoko  
そう ならば 女性  
私が家の中に入りますと
- V ホイヨ メノコ  
hoyyo menoko  
精神の悪い 女性  
精神の悪い女が
- V エケ ワ ネ ナ。  
ek wa ne na.  
来 て だ よ  
来ているぞ。
- 80 V ニスコタウキ ヤン！  
nisukotawki yan!  
臼で掻く しなさい  
(魂を)臼に入れて鎌で突け！
- V ニスコオッケ ヤン”  
nisukootke yan”  
臼で突く しなさい  
臼に入れて杵で突け！」
- V セコロ ハウアシ ア コロカ  
sekor haw'as a korka  
と 言つ た けれど  
と言いましたが
- V スンケ イタク ネ  
sunke itak ne  
嘘 言葉 である  
でたらめだろうと
- V アヌ ロク アワ  
a=nu rok awa  
(私)聞いた が  
聞いていますと
- 85 V アイニスコタウキ  
a=i=nisukotawki  
(人が私を)臼で掻く  
臼に入れて臼で突き

V	アイニスコオッケ a=i=nisukootke (人が私を)臼で突く	私は臼に入れて杵で突かれました。
V	キ 口ク アワ ki rok awa し た が	やられていると
V	モシリカラカムイ mosirkarkamuy 国造りの神	国造りの神様が
V	イケムヌ ヒネ i=kemnu hine (私に)同情するして	私をあわれんで
90	V (以下節なし) ケンポチカッポ <sup>21</sup> ネ kempocikappo ne アカショウビン に	アカショウビンに
	イカラ ヒネ i=kar hine (私を)し て	私を変えて下さって
	アウニ ソイケ タ a=uni soyke ta (私の)家 の外 に	私の家の前に
	ホシピアン ルウェ ネ hosipi=an ruwe ne 帰る(私) の です	帰ってきたのでした。
	セコロ sekor と	と <sup>22</sup>
95	メナシ ウン メノコ… Menas un menoko… メナシ の 女性	若いメナシの娘…
	セコロ。 sekor. と	とさ。
	これの続きが	

21 ケンポチカッポ kempocikappo 同書では直訳して「赤血鳥」と。話者の上田トシさんは何の鳥か不明と。以下同書より。「kempocikappo は、《血・(指小辞)・鳥・(指小辞)》。歌い手のつるさんは、「雀くらいの、なづき(=額)からくびも赤い鳥」と説明している。後にたずねた貝沢みさをさん、川上松子さん、木村キミさんは、知らないとのことである。久保寺逸彦の記録(『類歌』の項参照)の脚注には uuyike-chir との名が見え、これは知里真志保『分類アイヌ語辞典 動物編』に uuyike-cir 《アカショウビン》と出ている。」(p.71 注 1)

22 口演ではここで一旦中断し、聞き手の解説を挟んでいる。この前後から最後までメロディなしで語られている。「ここまでが赤血鳥の自叙で、次からはト書きとなる」(同書 p.71 注 3)

ポン メナシ ウン ポン メノコ  
Pon menas un pon menoko  
小さい メナシ の若い 女性

若いメナシの女

ウトウレシコロペ アネ ヒネ  
utreskorpe a=ne hine  
互いに姉妹を持つもの (私)であつて

の姉妹が私で

オカアン ペ ネ ヒケ  
oka=an pe ne hike  
暮らす(私) もの な のに

あったのですが

100 (ヤイライケ ネ クス  
(yayrayke ne kusu  
自殺 だ から

自殺ですから) <sup>23</sup>

マク ネ ワ ネ ヤ  
mak ne wa ne ya  
どう し て だ か

どうして

アサ ライ… ネ クス ネ ヤ… ワ  
a=sa ray... ne kusu ne ya... wa  
(私)の姉 死ぬ な の だ か して

私の姉が死んだのか

ライ ニ<sup>24</sup> カ アエランペウテク ノ  
ray ni ka a=erampewtek no  
死ぬ ? も (私)わからない で

死んだことも私はわからず

オッカイポ カ トウラノ ライ ルウェ ネ… ア プ”  
okkaypo ka turano ray ruwe ne... a p” 若者も一緒に死んだというのに  
若い男性 も 一緒に 死ぬ こと だつ た が

105 ウフイ イクシペ トウラシ  
uhuy ikuspe turasi  
燃える 柱 に沿って上に

燃えた柱を

ケンポチカッポ  
kempocikappo  
アカショウビン

赤血鳥(アカショウビン)が

ニムニム コロ…  
nimunimiu kor...  
登る ながら

のぼったりおりたりしながら

アコロ サポ アエヤイレラブ ナ  
a=kor sapo a=eyayrerap na  
(私)の 姉 (私)に嘆き話をする よ

私の姉が嘆き話をしたのですから

テワノ オカ ペウレ ウタラ  
tewano oka pewre utar  
これから の 若い人 たち

これから若者たちは

23 同書から。

24 ヒ hi か。

110 ネウン ピリカ オッカイボ オシッコテ ヤッカ  
 neun pirka okkaypo osikkote yakka どんなよい男に惚れても  
 どんな 良い 若い男性 を好きにな ても

メノコ オロワノ アナケネ イテキ  
 menoko orowano anakne iteki 女のほうからは決して…  
 女性 から は 決して

…ヤイエイコラムコロったかな？

ヤイエイコラムコロ パクノ  
 yayeikoramkor pakno 自分から求婚するほど

アシトマ プ ネ ナ。  
 a=sitoma p ne na.  
 (私)恐れる ものだ よ

テ ワノ オカ ペウレ ウタラ<sup>25</sup>  
 te wano oka pewre utar これから  
 ここ から いる 若い 人たち

自分から求婚するのはそれほど

恐ろしいことなのですよ。

115 イテキ オシッコテ オッカヨ アン ヤッカ  
 iteki osikkote okkayo an yakka 決して惚れた男がいても  
 決して 好きになる 男性 い ても

ヤヤンノアシ ヤイエイコラムコロ  
 yayannoas yayeikoramkor 自分から 自分で求婚する

これらの若者(娘)たちは

決して惚れた男がいても

パクノ アシトマ プ ネ ナ  
 pakno a=sitoma p ne na ほど 恐れる ものだ よ

自分のほうから求婚すること

ほど恐ろしいものはないのですよ。

セコロ  
 sekor  
 と

と

ケンボチカッポ  
 kempocikappo  
 アカショウビン

アカショウビンが

120 ニムニム コロ  
 nimunimu kor 登る ながら

柱をのぼりおりしながら

イトウレシネ ポンメノコ ヌ セコロ。  
 ituresne ponmenoko nu sekro.  
 妹 若い娘 聞く と

その妹である娘が聞いたそうです。

25 同書はメノコ menoko 「娘」。

アイヌ民族博物館 民話ライブラリ 1

## **上田トシの民話 1**

---

発 行 日 2015年2月28日

編集・発行 一般財団法人 アイヌ民族博物館

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2-3-4

TEL 0144-82-4199 FAX 0144-82-6121

---

本書は平成26年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。